

# 診療所における診療看護師 (Nurse Practitioner : NP) の現状と展望

土橋内科医院

小田倉弘典

2022.11.28

# 当院のNP

- 2018年4月入職
- 日本 NP 教育大学院協議会認定
- 救急看護認定看護師資格取得

※当資料における「NP」とは、日本NP教育大学院協議会のNP教育課程（2022年4月時点で17校）を修了した現行法上の看護師を指すが、将来的には、日本看護協会が創設を目指している米国等のような医師の指示を受けずに一定レベルの診断や治療などを行うことができる看護師を想定している。

# 診療所におけるNPのニーズ，背景

- 診療所における労働時間の増加（資料 1 A）
  - 1日9時間以上が47.2%（2021年）
- 診療所医師の高齢化（資料 1 B）
  - 平均年齢60.2歳（2020年）
- 診療所業務の多様化
  - 特にコロナ禍における発熱外来やワクチン業務の増加
  - オンライン診療を含む診療様式の多様化
  - 地域医療連携の必要性拡大
- ほぼソロプラクティスの診療所診療
  - 全国の診療所数：103 071
    - 厚生労働省・医療施設動態調査より令和3年1月末概数
  - 診療所医師数：107 226名
    - 厚生労働省・令和2(2020)年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況より

# NPの活動範囲（当院）

- 新患担当
  - 問診、身体診察、診断まで
  - 検査、処方オーダーは医師と協議
  - 発熱外来担当
- セルフケア支援
  - 高血圧、糖尿病など食事指導
  - 認知症ケア（物忘れ外来、家族指導）
  - フレイル予防
  - オンライン診療担当
- 在宅療養支援
  - 訪問診療同行
  - 家族支援
- 地域医療連携
  - 家族，介護スタッフ，訪問看護師等との調整



※当院では医師ブースとNPブースの2診体制  
処方を含む最終確認のみ医師が診療に参加

# NPはどこまでできるのか（当院）

- 新患担当，セルフケア支援
  - 問診，身体診察から臨床推論まで：比較的commonな疾患は対応可能
  - 検査，処方の内容決定については卒後一定の学習が必要
  - 生活習慣病の定期通院者について、生活指導，定期的な検査内容などについては短期間で習熟可能
    - 例）糖尿病患者での食事，運動指導，血糖、腎機能、眼科受診など
- 処方
  - 以下のような頻用薬は短期間で使用法に習熟可能
    - 睡眠薬、下剤、感冒薬などの頻用薬
    - 降圧薬、経口血糖降下薬、脂質低下薬などの生活習慣病頻用薬
  - 新薬、疾患特異的な薬剤については、学習が必要
- 地域医療連携
  - 高齢患者の生活環境把握
  - 介護サービス利用状況，施設入所準備（情報提供書作成）
  - 病院，施設退院（対所）時の状況把握
  - ポリファーマシー（処方前の段階）、ポリドクター対策：他院での処方の確認、他院への問い合わせ

# NP導入のメリット（主に診療所）

- 診療の効率化（資料2）
  - 単位時間あたりの患者数の増加
  - 待ち時間の短縮
  - 発熱外来、オンライン診療への対応
- 良好なコストパフォーマンス
  - 医師に比べて人件費が低く抑えられる
- タスクシェア・医師の負担軽減
  - 担当患者数の低減
  - 家族、福祉介護スタッフとの窓口
- 診療の質の向上
  - グループ診療による学習効果（医師にとっても）
  - 医師のソロプラクティス、高齢化への対策
  - 看護師全体の診療レベルの向上
  - 「ケアの視点」の導入
- 患者チャネルの増加
  - 話しやすい雰囲気：看護師にしか言えないことは多い
  - 高い患者満足度（資料3）

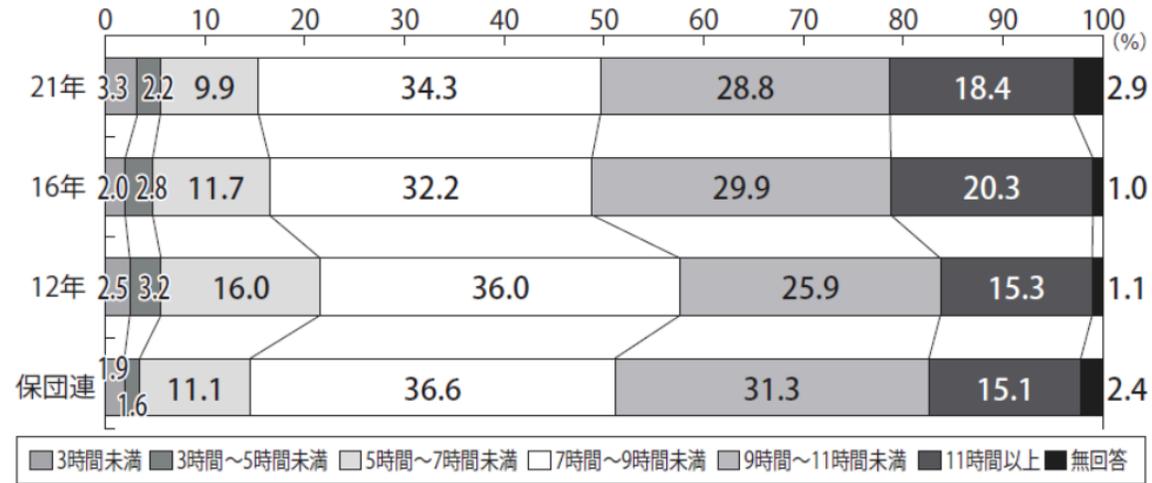
# NPの課題（私見）

- 現時点では（特に診療所での）実績、採用人数がかなり少ない
- 現場での生涯学習の必要性
- NPの存在意義、特性を生かした居場所の創生が必要
  - 医師とともに身体疾患の診療
  - 「話しやすい」「ケアの視点を持った」医療者としての役割

# 資料 1

## A：診療所医師の実労働時間の推移

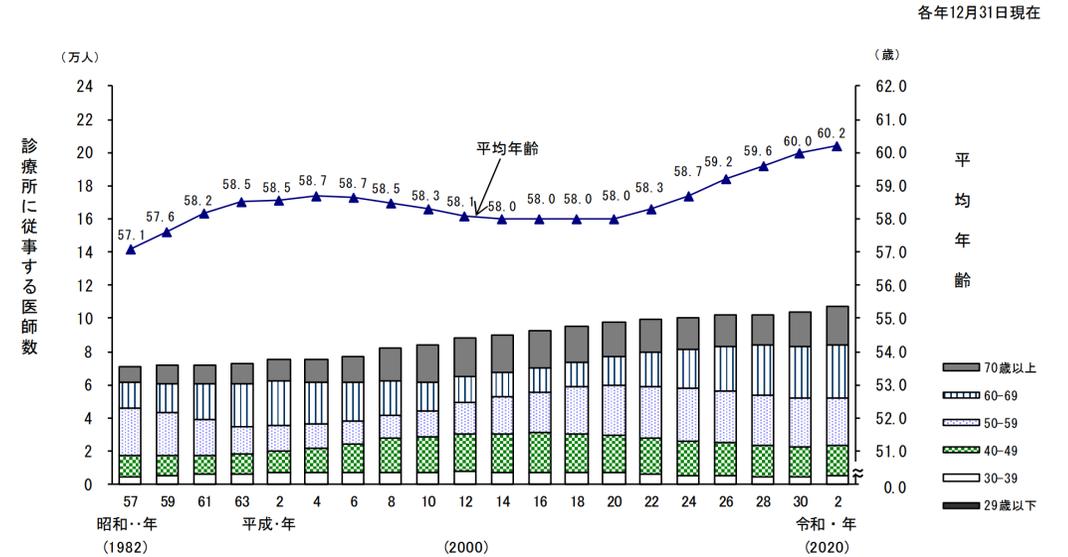
図1 先生ご自身の標準的な1日の実労働時間(全日診療の場合で、往診・在宅医療や調べもの等、請求事務を含みます)はどのくらいですか



『東京保険医新聞』2022年2月5日号掲載

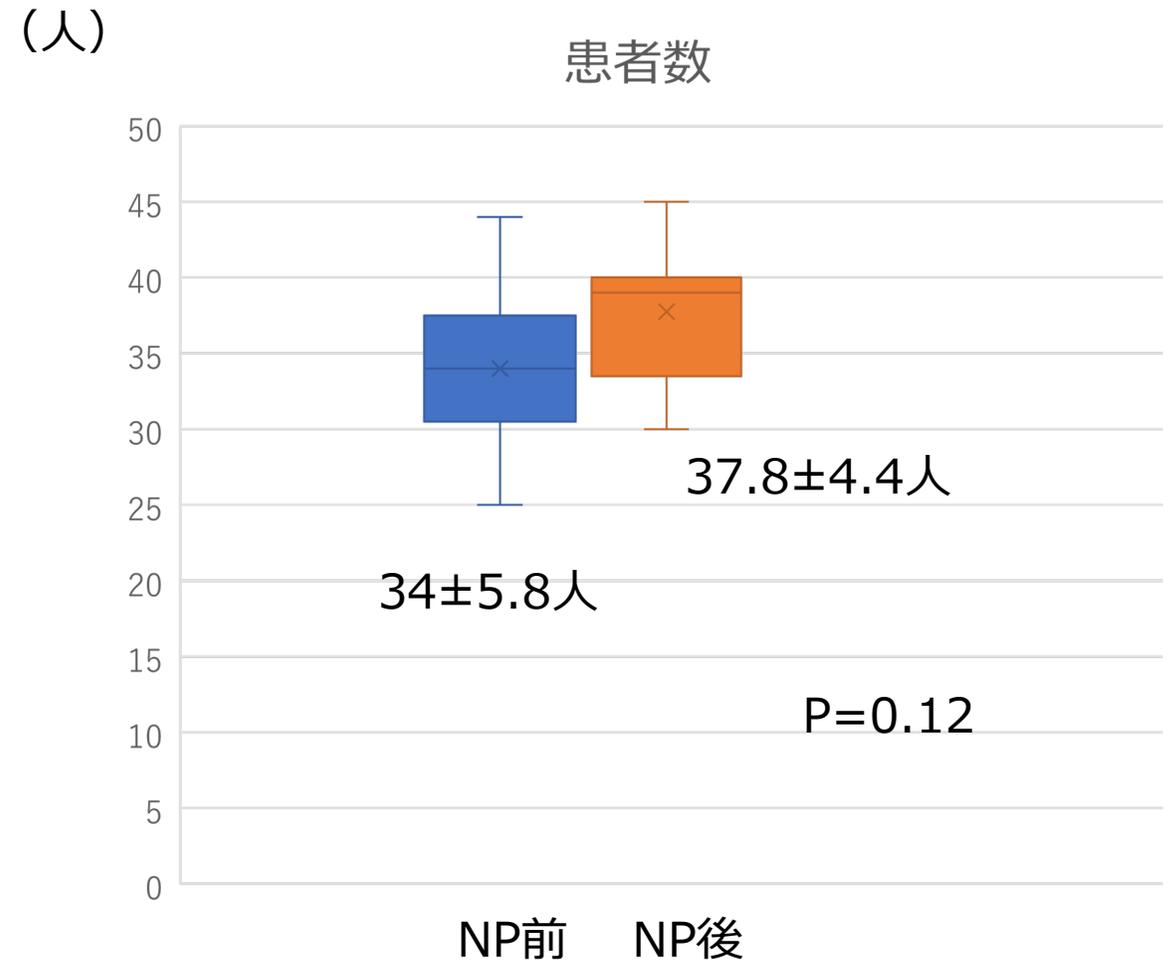
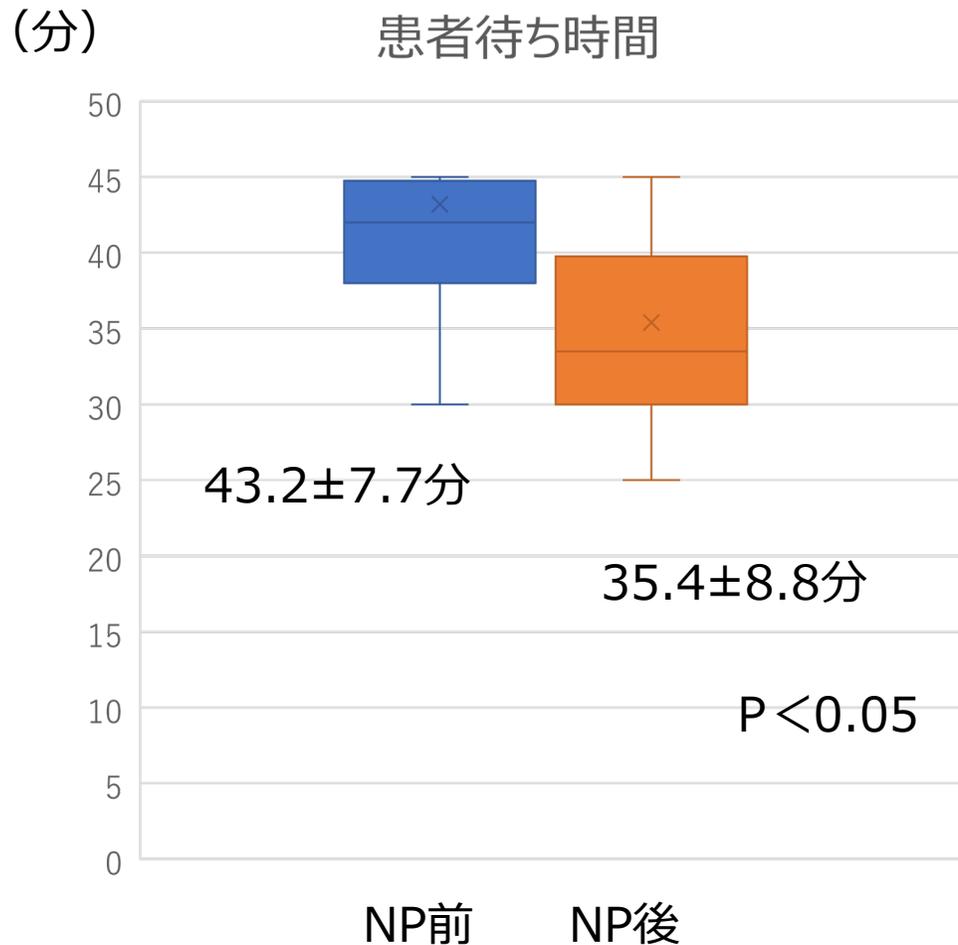
## B

図3 年齢階級別にみた診療所に従事する医師数及び平均年齢の年次推移



令和2(2020)年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況

# 資料2：NP導入前後における患者待ち時間及び患者数の推移 (土橋内科医院)



※土橋内科医院での受付から診察開始までの時間

NP前：2018年10月4日～10月9日

NP後：2022年10月3日～10月8日

※土橋内科医院での午前診療時間における患者数

NP前：2018年10月4日～10月9日<sub>9</sub>

NP後：2022年10月3日～10月8日

# 資料 3 : NPについての患者意識調査

【研究デザイン】 アンケート調査

【対象、セッティング】 土橋内科医院に通院する外来患者連続450名

【介入または主たる要因】 診療時に調査票を医師から手渡し郵送してもらう

【統計解析方法】 単純度数集計

【調査期間】 2018年10月～12月

【主たるアウトカム指標】 1) NPの認知度

2) NPが問診や身体診察を行うことに関する満足度

3) 将来的にNPが処方内容や治療方針を決定することに関する評価

2、3) についてはその理由も含み一部自由記載とした。

またNPに対する期待や疑問に関しては全て自由記載とした。

【倫理的配慮】 本研究は、日本プライマリケア連合学会倫理委員会の審査を受け承諾を得た（**文大倫第18-05号**）

# 資料 3

NPが問診や身体診察を行うことに関して

|         | 件数  | 構成比    |
|---------|-----|--------|
| 合計      | 296 | 100.0% |
| 大いに満足   | 56  | 18.9%  |
| 満足      | 157 | 53.0%  |
| どちらでもない | 55  | 18.6%  |
| 不満足     | 7   | 2.4%   |
| 大いに不満足  | 0   | 0.0%   |

|            | 件数  | 構成比    |
|------------|-----|--------|
| 合計         | 296 | 100.0% |
| 話を聞いてくれる   | 123 | 57.7%  |
| しっかり診てくれる  | 47  | 22.0%  |
| 待ち時間が短くなった | 64  | 30.0%  |
| 両方から診てもらえる | 123 | 57.7%  |
| その他        | 9   | 4.2%   |